

公 示

日本集中治療医学会 役員選出について

一般社団法人日本集中治療医学会定款に基づき、2012年度～2013年度（平成24年度～平成25年度）の役員及び評議員の選出を行います。

役員候補者及び評議員となることを希望する者は、所定の手続きを行って下さい。

なお、理事、監事、会長候補者の届け出用紙は評議員（有権者）に開示致しますので御了承願います。

1. 理 事

一般社団法人日本集中治療医学会定款第20条第3項、理事選出に関する細則に従い、本学会理事任期満了による新理事の選挙を第39回学術集会時に開催される社員総会にて行います。新理事の任期は第39回学術集会終了の翌日より、第41回学術集会の終了日までです。候補者となることを希望する者は、所定の届け出用紙を用いて、2011年（平成23年）10月31日（当日消印有効）までに学会事務局まで簡易書留にて届け出てください。

なお、候補者となることを希望する者は、書留とした返信用封筒を同封し書留便にて学会事務局まで届け出用紙を請求して下さい。

2. 監 事

一般社団法人日本集中治療医学会定款第20条第3項、監事選出に関する細則に従い、本学会監事任期満了による新監事の選挙を第39回学術集会時に開催される社員総会にて行います。新監事の任期は第39回学術集会終了の翌日より、第41回学術集会の終了日までです。候補者となることを希望する者は、所定の届け出用紙を用いて、2011年（平成23年）10月31日（当日消印有効）までに学会事務局まで簡易書留にて届け出てください。

なお、候補者となることを希望する者は、書留とした返信用封筒を同封し書留便にて学会事務局まで届け出用紙を請求して下さい。

3. 第42回会長（副会長）

一般社団法人日本集中治療医学会定款第21条第1項、会長および副会長選出に関する細則に従い、本学会第39回会長の任期満了による第42回会長の選挙を第39回学術集会時に開催される社員総会にて行います。第42回会長に選出された者は第39回学術集会終了の翌日より、第41回学術集会終了日まで副会長となります。候補者となることを希望する者は、所定の届け出用紙を用いて、評議員5名以上の推薦状を添えて2011年（平成23年）10月31日（当日消印有効）までに学会事務局まで簡易書留にて届け出てください。

なお、候補者となることを希望する者は、書留とした返信用封筒を同封し書留便にて学会事務局まで届け出用紙を請求して下さい。

4. 評議員

一般社団法人日本集中治療医学会定款施行細則の評議員選出に関する細則に従い、本学会評議員任期満了による新評議員の選出を行います。新評議員の任期は第39回学術集会終了の翌日より、第41回学術集会の終了日までです。候補者となることを希望する者（新任・再任）は本誌に綴じこんだ審査申請用紙を用いて、2011年（平成23年）10月31日（当日消印有効）までに学会事務局まで簡易書留にて届け出てください。なお、さらに審査申請用紙が必要な者は学会事務局にご連絡ください。審査申請用紙の交付締め切り日は2011年（平成23年）10月15日とします。

2011年7月1日

一般社団法人 日本集中治療医学会
理事長 前川 剛志

日本集中治療医学会評議員審査申請書（Ⅰ）

（20 年 月 日）

ふりがな		新任又は再任に○印	(事務局記入)																		
氏名		新任・再任	入会年月 年 月																		
生年月日	19 年 月 日生	医籍登録番号 第	号																		
学歴		大学医学部	年 月卒業																		
		大学大学院	年 月修了																		
学位	医学博士 有・無 その他の学位																				
現住所	〒	TEL																			
所属機関	名称	職責名																			
	所在地	〒	TEL FAX																		
	E-mail																				
専門分野	(複数も可)																				
認定記事	日本集中治療医学会専門医 <input type="checkbox"/> あり (No.) <input type="checkbox"/> なし その他の学会 <input type="checkbox"/> 指導医 (No.) ・ 専門医 (No.) <input type="checkbox"/> 指導医 (No.) ・ 専門医 (No.)																				
本会における最近5年間の活動（地方会を含む） ○学会での活動 <table border="0"> <tr> <td>学会・学術集会出席</td> <td>日本集中治療医学会学術集会</td> <td>地方会</td> </tr> <tr> <td>2006年度</td> <td>(あり・なし)</td> <td>(あり・なし)</td> </tr> <tr> <td>2007年度</td> <td>(あり・なし)</td> <td>(あり・なし)</td> </tr> <tr> <td>2008年度</td> <td>(あり・なし)</td> <td>(あり・なし)</td> </tr> <tr> <td>2009年度</td> <td>(あり・なし)</td> <td>(あり・なし)</td> </tr> <tr> <td>2010年度</td> <td>(あり・なし)</td> <td>(あり・なし)</td> </tr> </table> 一般演題座長 (回) 機関誌査読 (回) ○日本集中治療医学会の役員，学会への貢献 ○勤務する施設での集中治療部門への関与のありかた				学会・学術集会出席	日本集中治療医学会学術集会	地方会	2006年度	(あり・なし)	(あり・なし)	2007年度	(あり・なし)	(あり・なし)	2008年度	(あり・なし)	(あり・なし)	2009年度	(あり・なし)	(あり・なし)	2010年度	(あり・なし)	(あり・なし)
学会・学術集会出席	日本集中治療医学会学術集会	地方会																			
2006年度	(あり・なし)	(あり・なし)																			
2007年度	(あり・なし)	(あり・なし)																			
2008年度	(あり・なし)	(あり・なし)																			
2009年度	(あり・なし)	(あり・なし)																			
2010年度	(あり・なし)	(あり・なし)																			

日本集中治療医学会評議員審査申請書（Ⅱ）

1. 最近5年間の主な職歴

2. 5年間の業績（集中治療に関する研究）

- ・学会発表の場合 ：発表者. 学会名. 題名. 年度
- ・雑誌の場合 ：著者名. 題名. 雑誌名. 年；巻：始頁－終頁
- ・書籍・単行本の場合 ：著者名. 分担項目題名. 編集者名. 書名. 出版社名 地名：
年；始頁－終頁

上記の記載の通り相違ありません。

20 年 月 日

氏名

印

日本集中治療医学会
優秀論文賞の募集について

2011年度日本集中治療医学会優秀論文賞の授賞候補論文の募集を行います。
今年度は学術集会会期の関係上2011年10月31日(必着)までに学会事務局に申請下さい。
尚、応募用紙は日本集中治療医学会事務局までFAX(03-3815-0585)にて御請求下さい。

2011年7月1日

日本集中治療医学会
理事長 前川 剛志

優秀論文賞選出内規

第1条 目的

日本集中治療医学会優秀論文賞（本賞・奨励賞）を設け、集中治療医学の発展に寄与する。

第2条 対象

- 1) 筆頭著者が日本集中治療医学会会員であること。
- 2) 対象論文は、本学会総会の前々年10月から前年11月の間に本学会機関誌に掲載、あるいは本学会学術集会において発表後権威ある学術誌に掲載された原著論文とする。

第3条 選考委員会

選考委員会は次の構成とし、理事会の議を経て理事長が委嘱する。選考委員会は学術集会会長が委員長となり選考を行う。

1. 本会会長、前会長ならびに前前会長
2. 機関誌編集委員会より1名
3. 評議員より4名

委員の任期は、2.は3年、3.は1年とする。

第4条 募集方法

- 1) 選考委員長は年1回、候補論文の募集を行う。自薦または他薦による。
- 2) 候補論文は別に定める優秀論文賞選考の申し合わせ事項に従い公募する。
- 3) 機関誌編集委員会は候補論文を推薦できる。

第5条 選考方法

- 1) 選考委員会は別に定める優秀論文賞選考の申し合わせ事項に従って最終候補論文を選出する。
- 2) 受賞論文は理事会の議を経て決定する。
- 3) 受賞論文は年3編以内とする。

第6条 受賞

賞状ならびに賞金を本学会年次総会において会長より授与する。賞金額は、当面本賞1件20万円、奨励賞1件10万円とする。

第7条 受賞者は、同年度の学術集会において該当論文内容を報告しなければならない。

第8条 基金

第13回天羽会長よりの寄付金を基金とし、その他寄付金を受け付ける。基金の管理運用は理事長が行う。

付 則

この内規は、1986年3月1日から施行する。
この改定は、2001年5月18日から施行する。
この改定は、2002年1月11日から施行する。
この改定は、2003年5月1日から施行する。
この改定は、2004年3月5日から施行する。
(ただし、理事長に関する事項は2005年2月23日から施行する。)
この改定は、2005年12月22日から施行する。

会 告

第39回日本集中治療医学会学術集会 会告(第4報)

第39回日本集中治療医学会学術集会

会 長 福家 伸夫

学会幹事 志賀 英敏(医師部門)

賀来 かおり(看護部門)

小川 由希子(臨床工学技士部門)

〒299-0111 千葉県市原市姉崎3426-3

帝京大学ちば総合医療センター

救急集中治療センター内

第39回日本集中治療医学会学術集会を下記要領で開催いたします。皆様のご参加を歓迎いたします。

テ ー マ： Quality and Safety in Critical Care

会 期： 2012年(平成24年)2月28日(火)・29日(水)・3月1日(木)

併催：第17回アジア太平洋集中治療医学会(2月27日開会)

第12回日韓合同集中治療会議

会 場： 幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

<学術集会概要>

学術集会の概要につきましては2011年8月時点での予定企画情報を掲載しております。プログラム名や講演者は変更になる可能性があります。

注：ENGLISHとあるものは、併催の第17回アジア太平洋集中治療医学会(Asia Pacific Association of Critical Care Medicine: APACCM)と共通プログラムとなる英語のプログラムです。

<合同部門>

I インターナショナルシンポジウム(ENGLISH)

1. Woman power in critical care medicine
2. Intensive care in developing countries
3. Nocturnal sudden cardiac arrest in the male adolescence
4. Acute liver failure-etiology, diagnosis, and treatment
5. Clinical trial of Asian countries in critical care medicine
6. Terminal care in ICU

II 招請講演(ENGLISH)

Medical ethics in critical care medicine (仮)

Leslie M. Whetstone (Walsh University, USA)

III 教育講演

1. Non-nativeのための実践英語教育(仮)(ENGLISH)
Mary B. Sullivan (Language Consultant, USA)
2. Preparing the hospital system for a pandemic & disaster in the world (ENGLISH)
Charles L. Sprung (Hadassah Hebrew University Medical Center, Israel)

3. 廃用性(不活発による)機能障害, 高齢者のリハビリ
大川 弥生(国立長寿医療研究センター研究所)

IV シンポジウム

1. ICU患者の神経筋障害と生活機能(公募, 一部指定)
2. 集中治療の安全性の確保と向上(公募)
3. VAPをなくすための総合戦略(公募)
4. 集中治療の質の確保と向上(公募)
5. 院内における医療安全と集中治療のかかわり
6. 機能別の観点から考えるリハビリテーション
(日本心臓リハビリテーション学会共催)(公募, 一部指定)

V ワークショップ

1. ベッドサイドの超音波検査(ハンズオン)(参加者事前募集・ホームページにて募集します。)
2. 大災害時にわれわれは何ができるのか?

VI パネルディスカッション

1. ICUにおける集学的医療のピットフォール(公募)

VII 会長講演, 岩月賢一記念講演 他

1. APACCM Opening Lecture (APACCM開会基調講演)(ENGLISH)
Anthony S. McLean (APACCM President; Nepean Hospital, Australia)
2. 岩月賢一記念講演(ENGLISH)
Nurse practitioners and physician assistants enhance quality, value, and safety in critical care
Timothy G. Buchman (Emory University, USA)
3. 会長講演「集中治療という思想2012」
福家 伸夫(帝京大学ちば総合医療センター)
4. 優秀論文・奨励賞

<医師部門>

I 招請講演(ENGLISH)

1. Muscle weakness and paralysis in the critically ill patient
Nicola Latronico (University of Brescia, Italy)
2. Pathopharmacology in critical illness
JA Jeevendra Martyn (Massachusetts General Hospital, USA)
3. Blood pressure control in acute phase of cerebrovascular diseases (仮)
Adnan I. Qureshi (University of Minnesota, USA)
4. Fighting infection on technologically advanced implants and devices
Sean P. Gorman (Queen's University Belfast, Northern Ireland)
5. Medical device infection from a viewpoint of clinician (仮)
Victor D. Rosenthal (International Nosocomial Infection Control Consortium, Argentina)

II 教育講演

【インターナショナル(ENGLISH)】

1. 小児の脳低温療法について(仮)
Jamie Hutchison (The Hospital for Sick Children, Canada)
2. Improving long term outcomes in cardiac arrest and CPR with inhaled nitric oxide
市瀬 史(Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA)
3. Cardio cerebral resuscitation (CCR) and therapeutic hypothermia
長尾 建(駿河台日本大学病院救命救急センター)
4. Spinal emergencies and postoperative care
山崎 正志(千葉大学大学院医学研究院整形外科学)

【日本語】

1. 集中治療医に必要な人工呼吸器の知識
小谷 透(東京女子医科大学麻酔科学教室)
2. 集中治療医に必要なARDSの知識
橋本 悟(京都府立医科大学附属病院集中治療部)
3. 肺病変のCT像 — ARDSを中心に
一門 和哉(済生会熊本病院呼吸器科)
4. 集中治療医に必要な内科診断学
平岡 栄治(神戸大学総合内科)
5. 集中治療医に必要な栄養の知識
寺島 秀夫(筑波大学附属病院消化器外科)
6. 重症小児搬送の現状と課題
植松 悟子(国立成育医療研究センター救急診療科)
7. 重症患者の固定翼機搬送
浅井 康文(札幌医科大学救急集中治療医学講座)
8. 集中治療医に必要な肝臓の知識
貝沼 関志(名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部)
9. 集中治療医に必要な血液浄化法の知識
松田 兼一(山梨大学医学部救急集中治療医学)
10. 集中治療医に必要な循環補助法の知識
有元 秀樹(大阪市立総合医療センター救命救急センター)
11. 集中治療医に必要な凝固・線溶の知識
丸藤 哲(北海道大学大学院救急医学分野)

Ⅲ シンポジウム

1. Oncological emergenciesと集中治療(公募)

Ⅳ パネルディスカッション

1. 小児ICUを充実させるために
2. 重症患者の栄養を考える(公募)
3. ICUにおける真菌感染, ウイルス感染の現状と対策(公募)
4. ICUと医療経済(公募, 一部指定)

Ⅴ ワークショップ

1. 集中治療最新文献厳選60
2. 日本集中治療医学会専門医制度に期待するもの(公募, 一部指定)
3. 重症感染症ケースカンファレンス(公募)
4. M&Mカンファレンスを始めよう

Ⅵ 委員会報告

1. 新生児・小児集中治療委員会活動報告
2. CTG委員会活動報告
3. 社会保険委員会活動報告
4. 新型インフルエンザ調査委員会活動報告
5. Sepsis Registry委員会活動報告

<看護部門>

I シンポジウム

1. 電子カルテ導入における運用と課題
2. ICUからはじまるリハビリテーション — ADLの質を高めるために —
3. ICUにおける感染管理について
4. 集中治療領域におけるリソースの活用について

II 基調講演, 招請講演

1. 集中治療領域における人材育成と人材活用
2. ヘリコプターB429の開発に携わったフライトナース (ENGLISH)
Sandra Kinkade (Past President, Association of Air Medical Services, USA)

III 教育講演

1. 日本におけるフライトナースの現状
2. ICUにおけるクリニカルインジケーター
卯野木 健 (筑波大学附属病院)
3. 災害支援 —医療者の救済者ストレスについて
村上 典子 (神戸赤十字病院心療内科)

IV ワークショップ

1. 鎮静か? 抑制か? ICUにおける安全管理
2. 臓器移植の現状 —法改正によって何が変わったか—

V セミナー 他

1. 英文の学会発表・論文作成の方法
北岡 和代 (金沢医科大学看護学部)
2. 口腔ケア
3. 呼吸リハビリテーション
4. 交流集会: ICUにおける終末期を考える
5. 実践講座「急変, 重症化を見逃さない! 症状別アセスメント」—アセスメント能力を養おう—
(認定看護師活動支援小委員会, 集中ケア認定看護師会共催)

<臨床工学技士部門>

I 教育講演

1. 設立記念講演: 集中治療における臨床工学技士の必要性和今後の展望
加納 隆 (埼玉医科大学保険医療学部医用生体工学科)
2. 臨床工学技士会国際交流委員会の活動について
杉浦 陽一 (東京女子医科大学八千代医療センター臨床工学室)
3. チーム医療に役立つコミュニケーションスキル
種田 憲一郎 (国立保険医療科学院政策科学部安全科学室)
4. ICUでのアフエレーシス ABC
江口 豊 (滋賀医科大学救急集中治療医学講座)

II シンポジウム

1. 医療機器の安全性の向上を目指して (公募, 一部指定)

III ワークショップ

1. ECPRにおけるPCPSガイドラインの周知 (公募, 一部指定)
2. 集中治療領域における各種モニターの臨床応用 (公募, 一部指定)

IV パネルディスカッション

1. 臨床工学技士の常駐化について ~ICUにおける臨床の係わり第3弾 (公募, 一部指定)

<その他>

1. ICU設計コンテスト (理想編・現実編) (公募)
2. 特別展示企画 (市民講座)
新型ヘリコプターB429
空飛ぶICU (重症患者搬送専用小型ジェットセット)

<参加事前登録について>

オンラインで事前参加登録を受け付けております(2012年1月6日(金)17時迄)。詳細や登録方法につきましては、第39回日本集中治療医学会学術集会ホームページ(<http://www.jsicm2012.com/>)の「参加者へのご案内」をご参照下さい。

<演題発表について>

注意：ヒトを対象とした研究発表では、ヘルシンキ宣言(2000年10月、エジンバラ改訂)に基づき、所属機関の倫理委員会の承認を得て行った研究を発表して下さい。また、症例報告では、患者のプライバシー保護のため、患者が特定できるような表現はご遠慮下さい。発表・講演を行う演者は、開示する義務のある利益相反状態があれば、学会抄録あるいは発表スライド・ポスター等において自己申告して下さい。

<一般演題採用者の入会について>

一般演題の筆頭発表者、共同発表者は、日本集中治療医学会の会員に限ります。未入会の方は至急、入会手続きをお願いいたします。発表者に未入会者がいる場合は、演題発表ができない場合もありますのでご注意ください。

入会手続きにつきましては、日本集中治療医学会ホームページ(<http://www.jsicm.org/>)の「入会案内」をご参照いただくか、または、送付先の住所、氏名を記載した返信用封筒(80円切手貼付)を同封し、入会申込書必要部数を明記して下記までご請求下さい。

入会申込書請求先：〒113-0033 東京都文京区本郷3-32-6 ハイヴ本郷3F
日本集中治療医学会事務局
TEL：03-3815-0589

■連絡先

学術集会の運営に関するお問い合わせは、上記の学会事務局ではなく、下記までご連絡下さい。

【学術集会事務局】

帝京大学ちば総合医療センター 救急集中治療センター内
〒299-0111 千葉県市原市姉崎3426-3
TEL：0436-62-1211 (内線3320)
FAX：0436-62-1327
E-mail：jicm39@med.teikyo-u.ac.jp
URL：<http://www.jsicm2012.com/>

【運営準備室】

日本コンベンションサービス株式会社
コンベンション事業本部 医薬事業部 メディカル部
〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18階
TEL：03-3508-1214
FAX：03-3508-1302
E-mail：39icm@convention.co.jp